

医師の異動（5月）

■着任（令和6年5月1日付） ありません

■退職（令和6年4月30日付） ありません

医療従事者研修会の開催について

■ 第339回 開放型病床生涯教育研修会

日 時：令和6年6月6日（木）17:30～19:00

テーマ：『地域でつなぐバトン①～あなたの情報を次に活かそう～』

講 師：1 柏崎 元皓先生（浅井診療所所長） 2 伊藤 雅子先生（市立長浜病院）

3 寺村 育子先生（浅井東診療所） 4 北村 恵子先生（浅井東診療所）

会 場：市立長浜病院 本館2階 講 堂

申込み：FAX またはメールでお申し込みください

※ 講今回の研修会は、会場参加のみとなります。

※ 講演内容や申し込み方法等は、別添の開催チラシをご参照ください。

※ 日本医師会生涯教育制度指定講習会として申請します。

※ 開催方針に変更がある場合は速やかにご案内いたします。ご理解を賜りますようお願い申しあげます。

市民の健康を守って80年 SINCE1944

明治19（西暦1886）年4月に設置された県立大津病院長浜出張所が始まりとも言われる市立長浜病院ですが、昭和18年に市制が敷かれ昭和19年6月25日に市立長浜病院として開院しました。以来、市民の健康を守つて80年の月日を迎えようとしています。

その記念すべき年、今年6月下旬には創立80周年記念式典を挙行する予定です。11月頃には「びょういんの参観日」として、地域の子ども達を主役に本院の見学会を開催し、未来の医療人材の育成につなげていきたいと存じます。皆様のご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

■■ 編集後記 ■■ 新年度も早一月が過ぎ

令和6年4月には、医師や研修医の他に薬剤師4人、管理栄養士2人、放射線技師2人、言語聴覚士1人、臨床検査技師4人、看護師27人、社会福祉士1人そして事務職員1人が新規採用となりました。知りつながり、つなげる地域医療をモットーに新たなスタッフの紹介もしていきたいと思います。その成長を願って。



市立長浜病院は創立80周年

市立長浜病院 地域医療連携だより

令和6年5月1日号

No230

市立長浜病院
地域医療連携室



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。5月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。敬白

湖北唯一の循環器センターを目指して

最新鋭の心臓カテーテル検査室を造設、FFR-心臓CTも開始しました



副院長・循環器内科責任部長 高島 弘行

皆様、いかがお過ごしでしょうか。現在のスタッフが当院の循環器診療を担当するようになって10年が過ぎましたが、この湖北地域でも最高水準の循環器医療を提供できる様にと少しずつ整備を重ねてきました。今や当院のカテーテル手術数は滋賀県内トップクラス、近畿圏でも上位に入るほどで、県内を代表するハイボリュームセンターですが、これまで心臓カテーテル検査室はわずか1室のみで、増え続ける循環器疾患患者様への対応が困難な状況が続いていました。

このたび診療支援棟4階に超高画質と超低線量の両立を実現させたフィリップス社のバイブルーンアンギオ撮影装置 Azurion や、生理食塩水で自在に希釈することにより造影剤の節減が図れるバイエル社のArcatenaなど、世界最新鋭の設備を備えた心臓専用カテーテル室を造設しました。これで心臓専用カテーテル検査室が2室となり、更に多くの重症患者様の診療にあたることが可能となりました。勿論、血栓病変や石灰化病変に対応するエクシマレーザーやショックウェーブ、ロータブレーター、ダイアモンドバック、DCAなどのニューデバイスも全てラインナップして備えは万全です。

もう一つの話題としてFFR-CTを御紹介致します。心臓CTは冠動脈の狭窄病変を描出できる今や世界標準の検査方法ですが、その狭窄病変で生じる心筋虚血（心筋の酸素不足の程度）については、検査目的での心臓カテーテルを追加する必要がありました。このFFR-CTは、心臓CTの画像を基に、スーパーコンピューターを用いて冠動脈デジタル3Dモデルを構築し、血管狭窄病変が血流に与える影響を流体力学的に解析する新たなプログラムです。検査の流れとしては、まず従来の心臓CTを撮影して、もし狭窄病変が有った場合は、先に撮影された検査データを基にしてFFR-CT解析を追加する形となります。

厳しい施設基準があるため、これまで県内では大学病院しか導入されていませんでしたが、この検査により、虚血性心疾患者様の治療戦略が外来の段階で立てることが出来て、更にグレードアップされました。

この湖北でも、都市部と遜色のない最先端の循環器診療を提供することが我々の願いです。湖北循環器診療の最後の砦として、地域の皆様の期待に応えられる様、今後も全力で取り組んでいく所存です。



新任医師のご紹介

よろしくお願ひします

呼吸器外科部長 村上 裕亮

4月に市立長浜病院に赴任させていただきました、呼吸器外科の村上裕亮と申します。

これまで近畿圏を中心に勤務していましたが、滋賀県での勤務は初めてとなります。

今後少しでも滋賀県、湖北地域での地域医療に貢献できるよう努めさせていただきます。

まだまだ不慣れなこともありますので、何卒よろしくお願ひいたします。



外科副医長 河野 和馬

4月より外科に赴任して参りました河野 和馬と申します。徳島県の出身で、岡山大学を卒業後、姫路市のツカザキ病院での初期研修、神戸中央市民病院・西市民病院・西神戸医療センターでの後期研修を経て、医師6年目となりました。

初めての滋賀県での生活ですが、地元を懐かしく思いながら通勤しております。外来、手術、化学療法など外科診療全般にフットワーク軽く関わって参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



整形外科副医長 宮原 峻一

このたび令和6年度より市立長浜病院整形外科に新しく赴任させていただくことになりました宮原峻一と申します。

令和元年に滋賀医科大学を卒業し、昨年度は淡海医療センターで臨床経験を積みまして、外傷を中心に患者様一人一人に寄り添う診療を心がけております。

地域医療の一翼を担うべく、尽力してまいりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



放射線科（診断部門）専攻医 澤田 克也

今年度より市立長浜病院放射線科で勤務いたしております澤田克也と申します。初期研修の2年間こちらの病院で大変お世話になりました。

その後滋賀医科大学放射線科で勤務し、長浜に戻って参りました。2年ぶりに伊吹山を見て変わらぬ姿に安心し、改めてこの地で研鑽をつめることに感謝の念を抱いております。

まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、何卒よろしくお願ひ致します。



腎臓代謝内科専攻医 村田 航

令和6年4月より市立長浜病院に赴任致しました腎臓代謝内科の村田航と申します。

滋賀医科大学を卒業し、長浜赤十字病院にて2年間初期研修を行い、その後1年間滋賀医科大学医学部附属病院腎臓内科での勤務を経て、現在卒後4年目になります。

まだまだ至らない点は数多くありますが、湖北の医療に貢献できるように精進して参りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



消化器内科専攻医 吉田 翔希子

卒後5年目、消化器内科専攻医3年目の吉田翔希子と申します。市立長浜病院は学生実習時にもお世話になっており、またご縁があったことをありがとうございました。

未熟な点が多くご迷惑をおかけすることも多いと存じますが、これから長浜という地域をもっと深く知り、学ばせて頂き、日々精一杯頑張っていく所存であります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



循環器内科副医長 小嶋 克

4月より市立長浜病院循環器内科に赴任した小嶋克と申します。

初期研修を滋賀医科大学で修了し、前年度まで高島市民病院内科に勤務していました。

循環器では緊急性が高く致死的な疾患が多く、日常生活への影響も大きいかと思います。

患者様が安心して健康に過ごせるお手伝いができるよう、地域に根ざした診療を心がけたいと思っております。



麻酔科専攻医 寺村 美咲

2024年4月1日より市立長浜病院麻酔科に赴任しております、寺村美咲と申します。

出身地である滋賀県で日々勤務できると大変嬉しく思っております。

当院で手術を受けられる患者様一人一人に最適で、また安全・安心な周術期医療を提供できるよう、日々精進いたします。



循環器内科専攻医 中田 啓哉

本年度より市立長浜病院循環器内科医員として着任いたしました中田啓哉と申します。

初期臨床研修の2年間から引き続き、この長浜で医療に携わることができる非常にうれしく思います。

高血圧をはじめ、心不全や不整脈など幅広い疾患に対して、湖北の皆様のお力になれるよう全力を尽くしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

